

# 校長室から平成31年3月7日

## 生きてく意味はある 笑って見せてよ

3年生の皆さん、長かった受験への取り組みも一息つき、合格発表の日までは、とりあえずゆっくりと過ごせそうでしょうか。長い道のり、本当にお疲れ様でした。いつか、皆さんが「あの時は大変だったけど・・・。」と、それに続く体験談を、明るく話せる時がくるといいなと思います。

ところで、2月初旬に、本校の合唱部・合唱団が参加した、アンサンブルコンテストを参観した日の事でした。帰宅しようとして駐車場に向かう時、知り合いの音楽科の先生に偶然会いました。「相変わらず、長町中は上手ですね。」と話しかけられ、その後、「夏のNコンで、長町中の生徒達が歌ったGifts、とてもすばらしかったですね・・・。校長先生はこんな動画をご存じでしたか？」と、その場で、ある動画を見せていただきました。Giftsを作詞・作曲した越智志帆さんが、アカペラで歌うシーンが流れ、その後、普段の中学生達の日常や思いが映し出されるというものでした。

その中で、合唱部、野球部、ソフトテニス部の生徒達が、自分の自信のなさや、悶々とした思いを語るシーンがあります。「自分は部長なのに、何もできない。」「自分はプライドが高すぎて、素直になれない。」「人とかかわる事が苦手で、休み時間はいつも1人になりがち。」「昔から人に何か言われているような気がして、気になる。」等、それぞれが、今の辛さやマイナスの感情を語ります。そこで、他の部員達が、みんなで「大丈夫、あなたはあなたのままでいてほしい。」という意味合いのメッセージを送ります。メッセージを受け取った生徒は、「うれしい・・・。」と感情が溢れ出ます。

メッセージを受け取る側は、もちろん、喜びを表現していましたが、私が感じたのは、贈る側の生徒達の表情でした。カードを書いたり、動画を作成したりして、サプライズメッセージを贈りますが、作成過程の生徒達の表情がとても、生き生きとして、何とも言えない明るい表情でした。きっと、様々な思いを自分にも重ねているのかなとも思えましたが、人を傷つけ合う事よりも、認め合ったり、喜び合ったりする行動のほうが、はるかに豊かに生きていけるのだと、改めて実感します。そこに、この動画の意味があるのかなとも自分勝手に思っていました。

動画の最後に、「あなたの生きてく意味はある」という詩がテロップで映し出されます。この曲は、「あなたはあの日に生まれて、名前があって、父や母がいて、行きたい国や街があって、聞きたい歌があって、食べたいご飯があって、・・・それだけで生きていく意味がある、あの子と同じようにはなれないけれど、辛く悲しい痛みもあるけれど、いつか眩(まばゆ)い自分に気が付くはず・・・笑ってみせてよ・・・」と歌われます。

様々な思いを持って長町中学校で生活した3年生の皆さんも、4月になれば、地域から出て、新しい世界で再スタートします。そこには、まだ今まで見たことがなかった風景、価値観、驚きが待っていることでしょう。まだ見ぬ友達、先輩、先生が皆さんを待っています。きっと、様々な出会いや出来事それぞれに意味があるのだと思います。長町中学校を卒業しても、今までの思い出を胸に、自分と、自分に関わる人達を大切にしながら、思いやりを持ち続けて、生きていってほしいと思います。平成最後の卒業生諸君、3年間、ありがとう。9日は最高の笑顔で登校してください。お世話になった先生方、そして友人との最後のひとときを大切に、そこにもまた、意味があります。